



Q 2018年1月の注目イベントは？

A 米国、欧州で2017年10-12月期GDP（速報）が発表されます。緩やかな成長が続いているかが注目されます。

- 米国、英国、ユーロ圏では2017年10-12月期の実質GDP成長率が発表されます。緩やかな成長が続いているかが注目されます。
- 日本、欧州、米国の金融政策決定会合が下旬に開催されますが、金融政策は現状維持となる見通しです。
- 新興国でも金融政策決定会合が相次ぎますが、概ね現状維持となる見通しです。

● 各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2018年1月）

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
3日:12月ISM製造業景況指数 5日:12月雇用統計、11月貿易収支、12月ISM非製造業景況指数 9日:12月中小企業景況指数	5日:ユーロ圏11月PPI、ユーロ圏12月CPI(速報) 8日:ユーロ圏11月小売売上高 9日:ユーロ圏11月失業率、ドイツ11月鉱工業生産	2日:中国12月財新製造業PMI 7日:中国12月外貨準備高	9日:11月毎月勤労統計 9日:12月消費者態度指数 11日:12月東京オフィス空室率
11日:12月生産者物価指数(PPI) 12日:12月消費者物価指数(CPI)、12月小売売上高 17日:ページュブック、12月鉱工業生産 18日:12月住宅着工件数 19日:1月ミシガン大学消費者センチメント指数(速報)	11日:ユーロ圏11月鉱工業生産 15日:ユーロ圏11月貿易収支 16日:英12月CPI・PPI	12日:中国12月貿易収支 18日:南アフリカ金融政策決定会合((予)現状維持)、トルコ金融政策決定会合((予)引き締めバイアス維持) 中旬:韓国金融政策決定会合((予)現状維持)、インドネシア金融政策決定会合((予)現状維持)	11日:11月景気先行CI指数・景気一致CI指数 12日:11月国際収支、12月景気ウォッチャー 17日:11月機械受注
24日:12月中古住宅販売件数 25日:12月新築住宅販売件数 26日:10-12月期GDP(速報値)、12月耐久財受注(速報値) 29日:12月個人消費、所得、PCEコア・デフレーター 30日:一般教書演説、11月S&Pコアロジック/ケース・シーラ米住宅価格指数 30-31日:連邦公開市場委員会(FOMC)((予)現状維持)	23日:ユーロ圏12月消費者信頼感 23-26日:世界経済フォーラム年次会合(スイス・ダボス) 25日:ドイツ1月IFO企業景況感指数 25日:欧州中央銀行(ECB)理事会((予)現状維持) 26日:英10-12月期GDP(速報値) 30日:ユーロ圏10-12月期GDP(速報値)、ドイツ1月CPI 31日:ユーロ圏12月失業率、ユーロ圏1月CPI(速報)	19日:マレーシア金融政策決定会合((予)現状維持) 25日:台湾10-12月期GDP	22-23日:日銀金融政策決定会合((予)現状維持) 23日:11月全産業活動指数 24日:12月貿易収支、1月日経製造業PMI 26日:12月CPI 30日:12月小売業販売額、12月失業率 31日:12月鉱工業生産(速報)、12月住宅着工件数

(注) 2017年12月25日現在。日付は現地時間。予想はすべて三井住友アセットマネジメント。

(出所) 各種報道等より三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。